

## 2. 学校推薦型選抜

### (1) 学校推薦型選抜（共創学部）

実施学部	共創学部
募集人員	10人
出願要件	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、下記の推薦要件を満たし、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者としてします。ただし、高等学校等の長が推薦できる人数は、1校につき1人とします。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和6年4月から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を令和6年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を令和6年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>○推薦要件</p> <p>(1) 本学共創学部が掲げるアドミッション・ポリシーに合致し、人物及び学業に優れ、高等学校等の長が責任を持って推薦できる者</p> <p>(2) 本学共創学部が指定する令和7年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者</p> <p>(3) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者</p> <p>(注意)</p> <p>(1) 指定する令和7年度大学入学共通テストの教科・科目は、「国語」、「数学Ⅰ、数学Ⅱ」（旧数学Ⅰ・旧数学Ⅱ※）、「数学Ⅲ、数学Ⅳ」（旧数学Ⅲ・旧数学Ⅳ※）、「外国語（英語（リスニングを含む。）」、「情報Ⅰ」（旧情報Ⅰ※）です。</p> <p>（※ 旧教育課程の履修者が、希望すれば選択することができる旧教育課程による出題科目です。）</p> <p>(2) 出願書類は、高等学校等の長の責任のもと、提出してください。</p> <p>(3) 本学共創学部学校推薦型選抜に出願する場合でも、本学部の総合型選抜、一般選抜、国際型入試に出願することができます。ただし、別途出願手続きを行ってください。</p> <p>(4) 本学の他学部で実施される総合型選抜（文学部、教育学部、法学部、経済学部経済・経営学科、理学部各学科、医学部保健学科、歯学部、工学部（航空宇宙工学部を除く）、芸術工学部各コース及び農学部）、学校推薦型選抜（歯学部、芸術工学部）及び国際入試（教育学部）との併願はできません。</p> <p>(5) 国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、1つの大学・学部のみです。</p> <p>(6) 本学部の学校推薦型選抜に不合格となった場合に備えて、別途、国公立大学・学部の一般選抜に出願することができます。</p>
選抜方法等	<p>大学入学共通テストを課し、第1次選抜及び第2次選抜により行います。</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された推薦書、調査書又は調査書に代わる書類、志望理由書及び活動歴報告書の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、プレゼンテーションと面接を課し、大学入学共通テストの成績及び提出書類の内容と合わせて総合評価により選抜を行います。なお、第2次選抜は対面で行います。（詳細は「募集要項」を確認してください。）</p> <p>面接は主に日本語で行います。ただし、質疑応答の一部は英語で行います。</p> <p>なお、指定した英語能力試験（注）の成績（原本とする。写し不可）を提出した者については、所定の基準にしたがって、大学入学共通テストの英語の点数に換算します。（大学入学共通テスト「英語」の受験は必須）</p> <p>（注）英語能力試験は、下記のいずれかに限ります。</p> <p>実用英語技能検定試験（英検）、TOEFL iBT、IELTS（アカデミック・モジュール）、GTEC（OFFICIAL SCORE CERTIFICATE に限る）、TEAP（4技能）、ケンブリッジ英検（リンガスキルを除く）、TEAP CBT</p> <p>※自宅で受験するタイプの英語能力試験の成績の提出は認めません。</p> <p>【選抜の流れ】</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された推薦書、調査書又は調査書に代わる書類、志望理由書及び活動歴報告書の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、プレゼンテーションと面接を課し、大学入学共通テストの成績及び提出書類の内容と合わせて総合評価により選抜を行います。プレゼンテーションに用いる資料は、「募集要項」で指定したものに限りま。</p>
出願期間	令和6年11月19日（火）～11月25日（月）
選抜期日	令和6年12月上旬～12月中旬 令和7年2月1日（土）
合格発表日	令和7年2月12日（水）

(2) 学校推薦型選抜（歯学部）

実施学部	歯学部
募集人員	8人
出願要件	<p>高等学校若しくは中等教育学校を令和6年4月から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、下記の推薦要件を満たし、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者としてします。ただし、高等学校等の長が推薦できる人数は、1校につき2人としてします。</p> <p>○推薦要件</p> <p>(1) 本学歯学部が掲げるアドミッション・ポリシーに合致し、人物及び学業に優れ、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(2) 本学歯学部が指定する令和7年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者</p> <p>(3) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者</p> <p>(注意)</p> <p>(1) 本学部の学校推薦型選抜に出願する場合でも、本学部の一般選抜に出願することができます。ただし、別途出願手続きを行ってください。</p> <p>(2) 本学部の学校推薦型選抜に出願した場合は、本学部の総合型選抜との併願はできません。</p> <p>(3) 本学の他学部で実施される総合型選抜、国際入試（教育学部）との併願はできません。</p> <p>(4) 国立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、1つの大学・学部のみです。</p> <p>(5) 本学部の学校推薦型選抜に不合格となった場合に備えて、別途、国公立大学・学部の一般選抜に出願することができます。</p>
選抜方法等	<p>第1次選抜及び第2次選抜により行います。</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された推薦書、調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、面接及び令和7年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。</p> <p>※ 大学入学共通テストの教科・科目</p> <p>国 (国語)</p> <p>地歴及び公民 [(地理総合, 地理探究), (歴史総合, 日本史探究), (歴史総合, 世界史探究), (公共, 倫理), (公共, 政治・経済)から1] (注1) (注2)</p> <p>数 [(数学Ⅰ, 数学A)と(数学Ⅱ, 数学B, 数学C)] (注2)</p> <p>理 (物理, 化学, 生物から2)</p> <p>外 (英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1)</p> <p>情 (情報Ⅰ) (注2)</p> <p>(注1) 地歴及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第1解答科目の得点を地歴及び公民の得点として採用します。</p> <p>(注2) 旧教育課程の履修者は希望すれば、旧教育課程による出題科目を選択することができます。</p> <p>地歴及び公民 [旧世界史B, 旧日本史B, 旧地理B, 旧現代社会, 旧倫理, 旧政治・経済, (旧倫理, 旧政治・経済)から1]</p> <p>数 [(旧数学Ⅰ・旧数学A)と(旧数学Ⅱ・旧数学B, 旧簿記・会計, 旧情報関係基礎から1)]</p> <p>情 (旧情報)</p> <p>※「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。</p>
出願期間	令和6年11月1日（金）～11月8日（金）
選抜期日	令和6年11月下旬～12月中旬 第1次選抜 令和7年2月1日（土） 第2次選抜
合格発表日	令和7年2月12日（水）

(3) 学校推薦型選抜（芸術工学部芸術工学科インダストリアルデザインコース）

実施学部・学科	芸術工学部 芸術工学科 インダストリアルデザインコース
募集人員	8人
出願要件	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、下記の推薦要件を満たし、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者とします。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>○推薦要件</p> <p>(1) インダストリアルデザインコースのアドミッションポリシーに加え、学校推薦型選抜にて求める学生像に合致し、人物及び学業に優れる者</p> <p>(2) インダストリアルデザインコースが指定する令和7年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者</p> <p>(3) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者</p> <p>(注意)</p> <p>(1) 国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）へ出願できるのは、1つの大学・学部（学科・専攻・コース等）のみです。</p> <p>(2) この選抜に出願した場合、インダストリアルデザインコースを含む本学の学部（学科・専攻・コース）で実施される総合型選抜、国際入試（教育学部）との併願はできません。</p> <p>(3) 国公立大学の一般選抜の出願を行う場合、その出願先は自由に選択できます（前期日程でインダストリアルデザインコースに出願しなければならない等の制限はありません）。</p>
選抜方法等	<p>入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜により行います。</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された推薦書、調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、面接を課し、令和7年度大学入学共通テストの成績及び提出書類の内容と合わせて総合評価により選抜を行います。</p> <p>※ 大学入学共通テストの教科・科目</p> <p>国 (国語)</p> <p>地歴及び公民 [(地理総合, 地理探究), (歴史総合, 日本史探究), (歴史総合, 世界史探究), (公共, 倫理), (公共, 政治・経済)から1] (注1) (注2)</p> <p>数 [(数学Ⅰ, 数学A)と(数学Ⅱ, 数学B, 数学C)] (注2)</p> <p>理 (物理, 化学, 生物, 地学から2)</p> <p>外 (英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1)</p> <p>情 (情報Ⅰ) (注2)</p> <p>(注1) 地歴及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第1解答科目の得点を地歴及び公民の得点として採用します。</p> <p>(注2) 旧教育課程の履修者は希望すれば、旧教育課程による出題科目を選択することができます。</p> <p>地歴及び公民 [旧世界史B, 旧日本史B, 旧地理B, (旧倫理, 旧政治・経済)から1]</p> <p>数 [(旧数学Ⅰ・旧数学A)と(旧数学Ⅱ・旧数学B, 旧簿記・会計, 旧情報関係基礎から1)]</p> <p>情 (旧情報)</p> <p>※「旧簿記・会計」, 「旧情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。</p>
出願期間	令和6年11月1日（金）～11月8日（金）
選抜期日	令和6年11月下旬～12月中旬 第1次選抜 令和7年2月1日（土） 第2次選抜
合格発表日	令和7年2月12日（水）

(4) 学校推薦型選抜（芸術工学部芸術工学科未来構想デザインコース）

実施学部・学科	芸術工学部 芸術工学科 未来構想デザインコース
募集人員	5人
出願要件	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、下記の推薦要件を満たし、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者としてします。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>○推薦要件</p> <p>(1) 未来構想デザインコースのアドミッションポリシーに加え、学校推薦型選抜にて求める学生像に合致し、未来構想デザインコースで学ぶ強い志がある者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況がおよそ4.0以上の者</p> <p>(3) 未来構想デザインコースが指定する令和7年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者</p> <p>(4) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者</p> <p>(注意)</p> <p>(1) 国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）へ出願できるのは、1つの大学・学部（学科・コース）のみです。</p> <p>(2) この選抜に出願した場合、未来構想デザインコースを含む本学の学部（学科・専攻・コース）で実施される総合型選抜、国際入試（教育学部）との併願はできません。</p> <p>(3) 国公立大学の一般選抜の出願を行う場合、その出願先は自由に選択できます（前期日程で未来構想デザインコースに出願しなければならない等の制限はありません）。</p>
選抜方法等	<p>入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜により行います。</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された推薦書、調査書又は調査書に代わる書類、作文及び自己活動評価書を総合的に評価して選抜します。作文のテーマは、「未来構想デザインコースの学びを通して将来取り組みたいこと」です。自己活動評価書には添付書類等を任意でつけることができます。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、小論文及び面接を課し、令和7年度大学入学共通テストの成績及び提出書類の内容と併せて総合評価により選抜を行います。</p> <p>※ 大学入学共通テストの教科・科目</p> <p>国 (国語)</p> <p>地歴及び公民 [(地理総合, 地理探究), (歴史総合, 日本史探究), (歴史総合, 世界史探究), (公共, 倫理), (公共, 政治・経済)から1] (注1) (注2)</p> <p>数 [(数学Ⅰ, 数学A)と(数学Ⅱ, 数学B, 数学C)] (注2)</p> <p>理 (物理, 化学, 生物, 地学から2)</p> <p>外 (英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1)</p> <p>情 (情報Ⅰ) (注2)</p> <p>(注1) 地歴及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第1解答科目の得点を地歴及び公民の得点として採用します。</p> <p>(注2) 旧教育課程の履修者は希望すれば、旧教育課程による出題科目を選択することができます。</p> <p>地歴及び公民 [旧世界史B, 旧日本史B, 旧地理B, (旧倫理, 旧政治・経済)から1]</p> <p>数 [(旧数学Ⅰ・旧数学A)と(旧数学Ⅱ・旧数学B, 旧簿記・会計, 旧情報関係基礎)から1]</p> <p>情 (旧情報)</p> <p>※「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。</p>
出願期間	令和6年11月1日（金）～11月8日（金）
選抜期日	令和6年11月下旬～12月中旬 第1次選抜 令和7年2月1日（土） 第2次選抜
合格発表日	令和7年2月12日（水）

【旧教育課程履修者の経過措置について】

※「新教育課程」とは、平成30年3月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程をいう。

※「旧教育課程」とは、「新教育課程」以外の教育課程をいう。

※本表は、旧教育課程の履修者が、希望すれば選択することができる旧教育課程による出題科目です。（旧教育課程の履修者も、新教育課程による出題科目が受験できます。）

○学校推薦型選抜において旧教育課程の履修者が、希望すれば選択することができる旧教育課程による出題科目

学部・学科	地理歴史及び公民										数学					情報	
	旧 世 界 史 A	旧 世 界 史 B	旧 日 本 史 A	旧 日 本 史 B	旧 地 理 A	旧 地 理 B	旧 現 代 社 会 理	旧 政 治 ・ 経 済	旧 倫 理 、 旧 政 治 ・ 経 済	旧 倫 理 、 旧 政 治 ・ 経 済	グループ①		グループ②				旧 情 報 関 係 基 礎
											旧 数 学 I ・ 旧 数 学 A	旧 数 学 I	旧 数 学 II ・ 旧 数 学 B	旧 数 学 II	旧 簿 記 ・ 会 計		
共創学部	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	◎	△	◎	△	△	△	◎
歯学部	△	○	△	○	△	○	○	○	○	○	◎	△	◎	△	△	△	◎
芸術工学部	△	○	△	○	△	○	△	△	△	○	◎	△	◎	△	△	△	◎
	△	○	△	○	△	○	△	△	△	○	◎	△	◎	△	△	△	◎
	△	○	△	○	△	○	△	△	△	○	◎	△	◎	△	△	△	◎

- (注) 1. ◎印は必須科目，○印は選択科目，△印は指定された者のみ選択解答できる科目を示します。
2. 「地理歴史及び公民」の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、「地理歴史及び公民」の受験科目を1科目としている場合は、受験した科目のうち第1解答科目の得点を「地理歴史及び公民」の得点として採用します。  
 なお、本学が指定している科目を第1解答科目で受験せず、第2解答科目で受験した場合、その得点は0点として取り扱いますので、十分に注意してください。  
 ただし、同一名称を含む選択できない科目を受験した場合、第2解答科目は0点として取り扱わず、出願無資格とします。  
 (例：指定している科目「旧世界史B」；第1解答科目で「旧世界史A」，第2解答科目で「旧世界史B」を受験した場合などは出願無資格とします。)
3. 「数学」のグループ②で「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。